

第62期

# FUNAI 通信

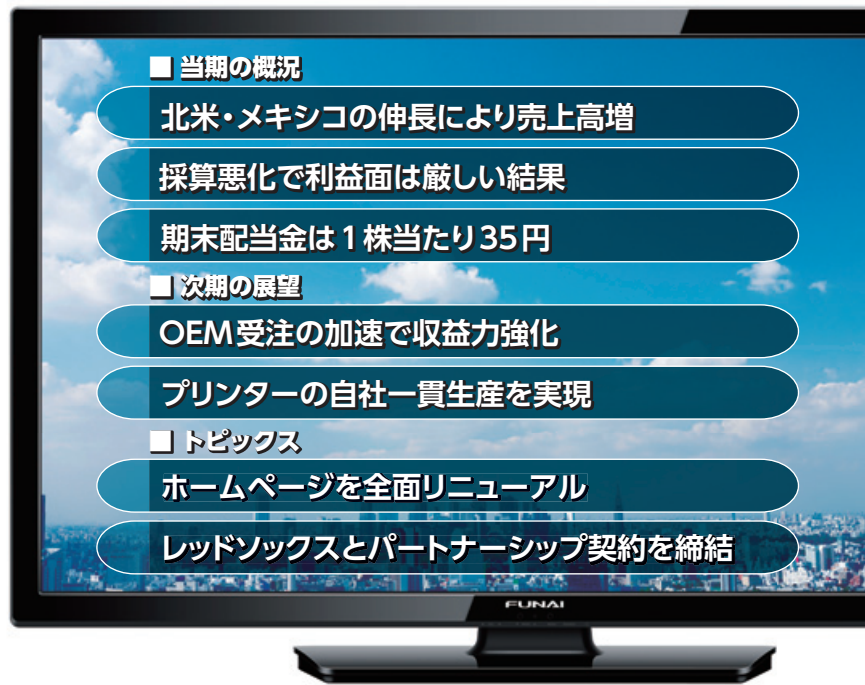
2013年4月1日～2014年3月31日

証券コード: 6839

## 船井電機株式会社

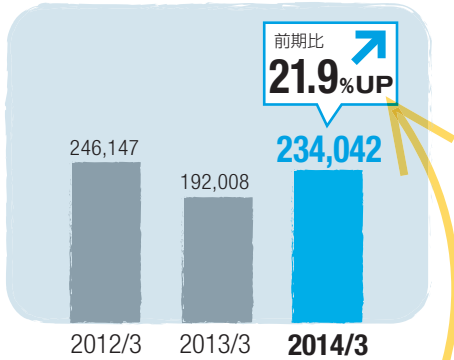
〒574-0013 大阪府大東市中垣内7丁目7番1号

http://www.funai.jp/



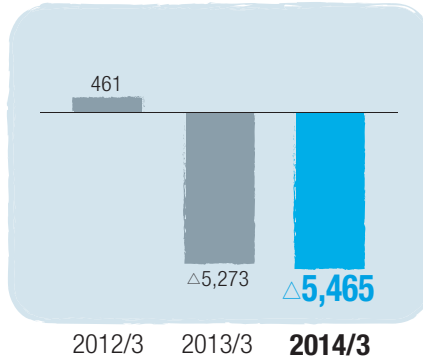
## 財務ハイライト

売上高 (百万円)



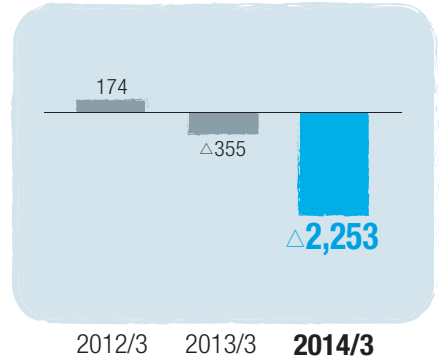
主要市場である北米をはじめ、メキシコでも売上が伸長したことなどから、**前期比21.9%の増収**となりました。

営業利益 (損失) (百万円)



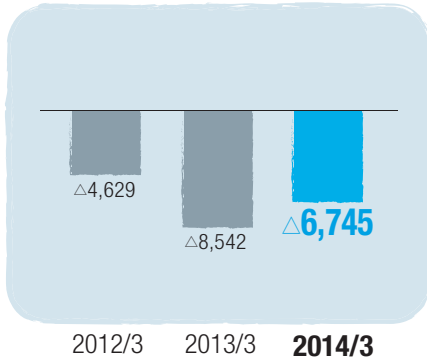
北米・メキシコにおけるフィリップスブランド製品の採算悪化を主因として、営業損失は5,465百万円となりました。

経常利益 (損失) (百万円)



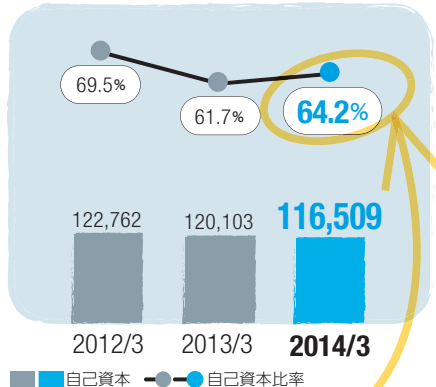
為替差益3,477百万円の発生があったものの、経常損失は2,253百万円となりました。

当期純利益 (損失) (百万円)



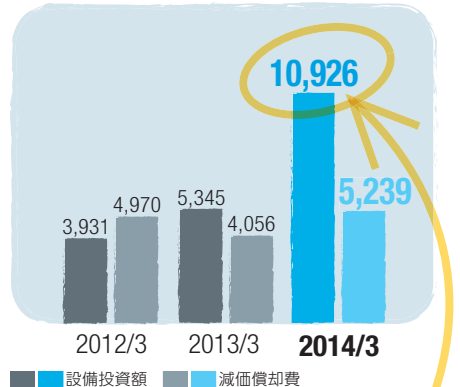
事業構造改善費用などにより3,397百万円の特別損失を計上し、当期純損失は6,745百万円となりました。

自己資本・自己資本比率 (百万円)



前期末比で負債が減少したことなどにより、**自己資本比率は上昇**しました。

設備投資額・減価償却費 (百万円)



2013年4月に実施した買収により、**一時的に設備投資額が増加**しました。

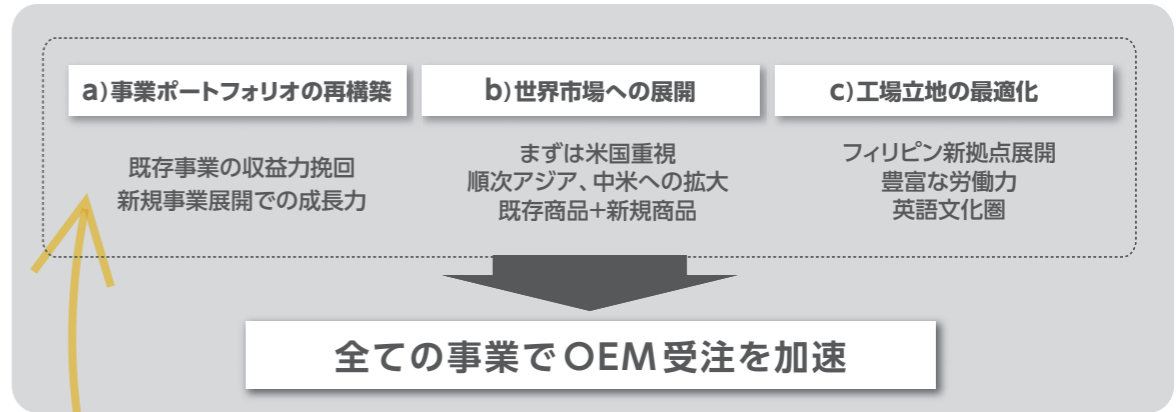
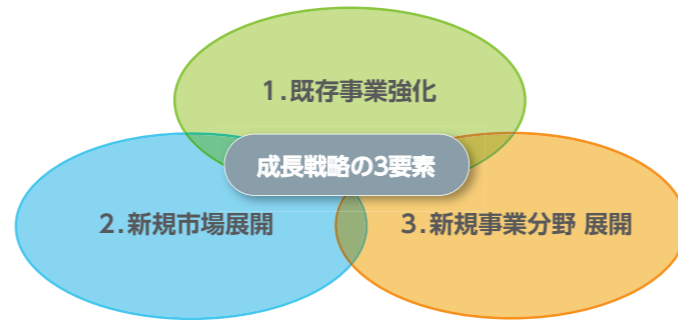
将来の見通しについての注意

開示情報のうち過去の事実以外の将来の業績に関する予想及び見通しについては、作成時点で入手可能な情報をもとにした仮定及び見通しを前提としており、リスクや不確定な要因を含んでいます。実際の業績は、経済情勢、市場環境などの変化により、見通しとは大きく異なる場合があります。

当期に明らかになった課題点に適切な対策を講じ、早期の黒字化を目指します。

代表取締役 執行役員社長  
上村 義一

今後の成長戦略



Q 当期(2014年3月期)の業績は?

A 液晶テレビ等の好調により売上は伸長したものの、4期連続の最終赤字となりました。

当期は売上高の減少にストップをかけ、かつ営業利益を黒字転換することを最低限の目標としていました。結果として、売上高は北米・メキシコ向け液晶テレビを中心に販売額が増加したことにより計画以上の数字を達成し、売上高の減少に歯止めをかけることが出来ました。

しかしながら、営業利益は、北米・メキシコにおけるフィリップスブランドの液晶テレビの採算悪化や、オーディオアクセサリ製品の在庫処分などにより大きな赤字となりました。

株主の皆様には大変なご心配をお掛けしたことをお詫び申し上げます。当期に発生した問題点については全て対策を立てており、それを着実に実行することで次期は黒字化を必ず達成します。

Q 次期(2015年3月期)の取り組みは?

A 問題の対策を講じるとともに、独自プリンター事業を成長させます。

次期は今後の方向性を決めていくうえで重要な年と位置付けています。売上高は2,000億円、営業利益は5億円を計画しており、前年の反省を踏まえて売上伸長よりも損益の改善に重点を置いています。

特にフィリップスブランドを扱う販社を採算重視の戦略にシフトし、プリンター事業は船井独自製品の開発、市場投入を進めていきます。また同時に、全ての事業でOEM\*受注活動も推進していきます。

既存事業では、コスト競争力を高めるとともに、新興国など着実な成長が見込める市場に適切なタイミングで製品を投入することで収益の改善を図っていきます。また、当社の強みである独自の生産性向上ノウハウを生かし、多様なニーズに対応できるメカトロニクス製品で高成長・高収益化にチャレンジします。

\*OEM: Original Equipment Manufacturer 相手先ブランド名で製造を請け負う業務

Q 今後の成長戦略は?

A 成長戦略における3要素を強力に推進します。

今後の成長戦略では、既存事業の強化、新規市場展開、新規事業分野展開の3つの要素を重視します。この要素を具現化していくため、「事業ポートフォリオの再構築」「世界市場への展開」「工場立地の最適化」を推進しています。

たとえば液晶テレビは、需要が高まっている60インチ超の大型サイズや、付加価値の高い4Kテレビなどをタイミングよく市場に投入していきます。プリンターに関しては、収益性の高いインクカートリッジも含め、次期より自社一貫生産体制でユーザー獲得に挑戦します。

また、中国では生産拠点を従来の3箇所から2箇所に集約し、新たな戦略拠点としてフィリピン工場の稼働を今年度中に開始します。

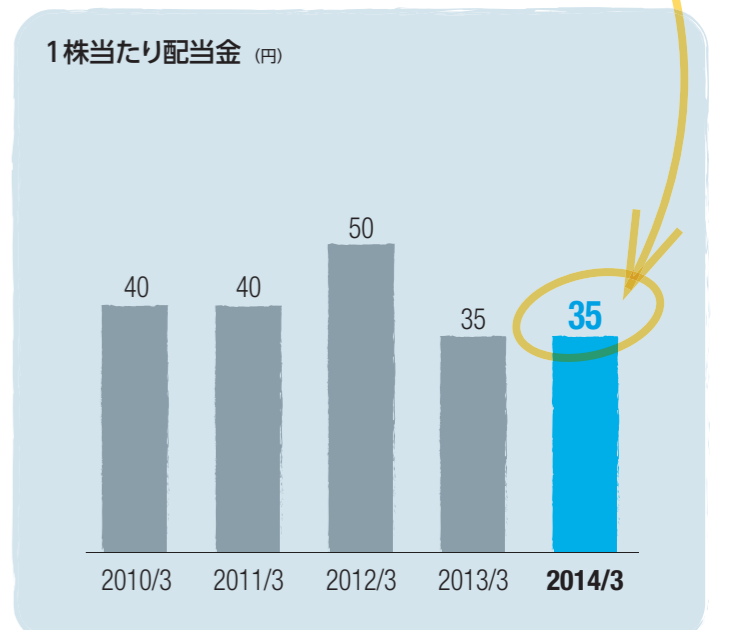
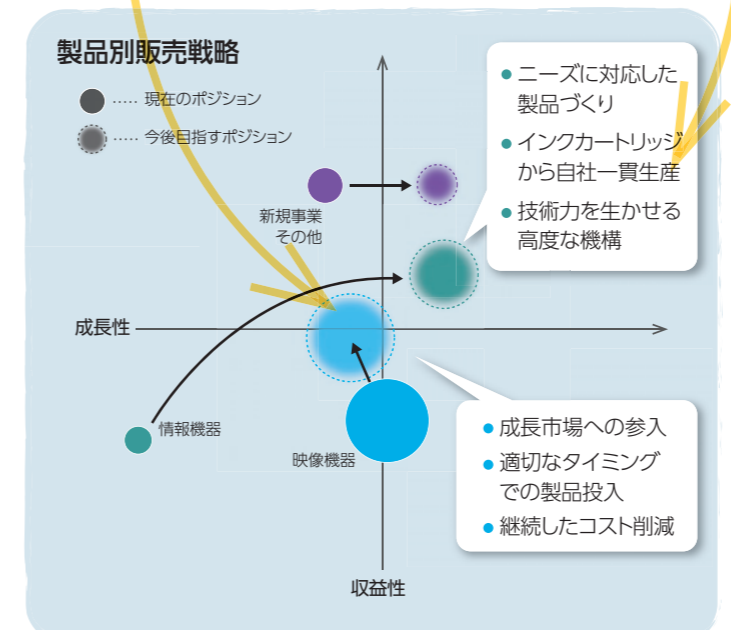
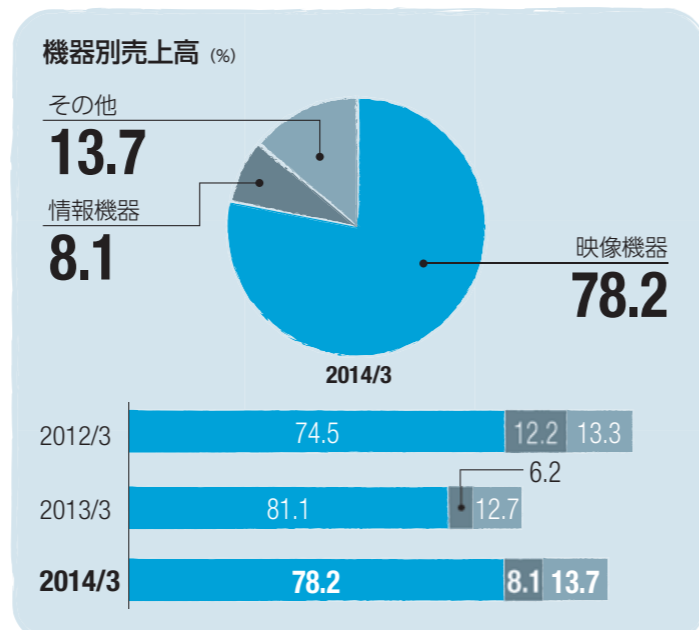
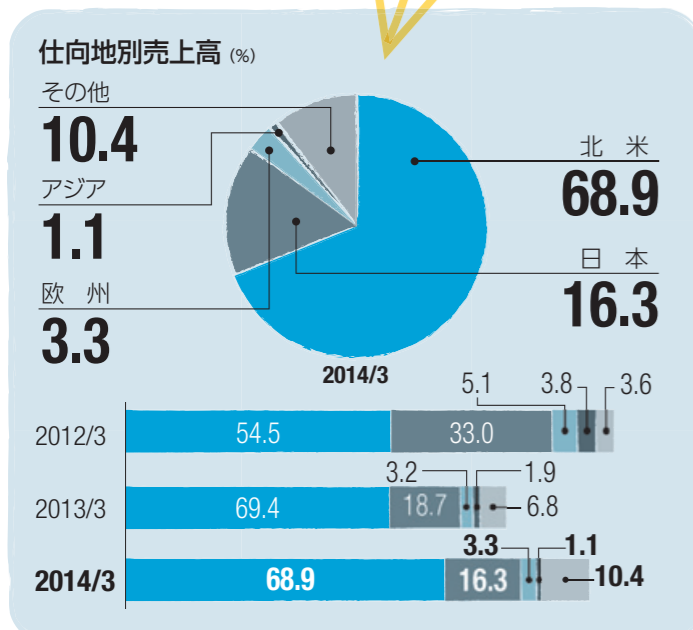
Q 配当は?

A 厳しい環境ですが、DOEの1%配当を堅持します。

当社の利益配分につきましては、株主に対する利益還元を重要な経営課題の1つと認識し、経営基盤の強化を図りながら安定配当を維持することを基本方針としています。具体的な基準として、連結純資産配当率(DOE)1.0%を基本に、経営環境などを考慮した配当政策を実施してきました。

上記の方針を踏まえ、当期の期末配当金につきましては、厳しい業績ではありますが1株当たり普通配当金35円とし、実施させていただきました。次期の配当については未定です。

株主の皆様には、当社グループの事業にご理解を賜り、今後とも変わらぬご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。



2013年12月

## ホームページをリニューアルしました



スペシャルコンテンツ「FUNAI早わかり」



株主・投資家情報

最新のニュースリリースや製品情報といった基本的な情報のほかに、船井電機の歴史や強みがひとめでわかるスペシャルコンテンツ「FUNAI早わかり」を新設。CSR情報も大幅に充実し、より船井電機のことを深く知っていただけるホームページになりました。

URL : <http://www.funai.jp/index.html>

2014年2月

## レッドソックスとパートナーシップ契約を締結しました

2014年2月、米国のボストン・レッドソックス球団とパートナーシップ契約を締結しました。これに伴い、キャンプ地の看板や日本のインタビュー用背景板、ホーム球場で行われる公式試合の看板などに船井電機のロゴが使用されます。

また、球団のチャリティ団体であるボストン・レッドソックス財団が主催するイベントにも協賛します。このイベントは日本の少年がボストンを訪れ、文化交流とともに地元少年野球チームとの親善試合を行うもので、社会貢献の一環として協賛しています。



2013年にワールドシリーズで優勝したレッドソックス。その祝賀パーティに出席した上村社長(中央)と林副会長(右)



日米少年野球交流イベント

### 株式の状況

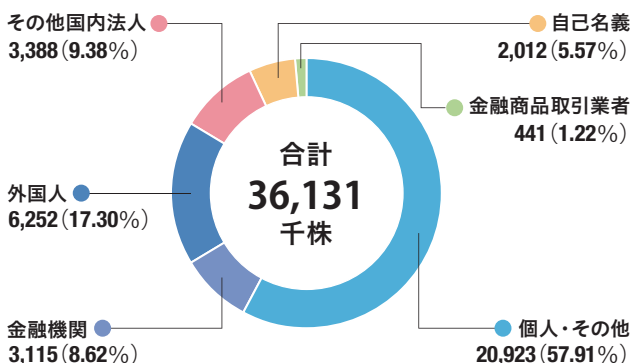
(2014年3月31日現在)

発行可能株式総数.....80,000,000株  
発行済株式の総数.....36,130,796株  
株主数.....10,845名

### 株式分布状況

(2014年3月31日現在)

(単位:千株)



### 株主メモ

事業年度 4月1日から翌年3月31日まで  
定時株主総会 毎年6月に開催いたします。  
基準日 定時株主総会の議決権 3月31日  
期末配当 3月31日  
※なお中間配当を行う場合の基準日は9月30日  
(その他必要がある場合は、あらかじめ公告いたします。)

単元株式数 100株  
公告方法 電子公告により行います。  
<http://www.funai.jp/jp/investors/koukoku.html>  
ただし、電子公告によることができないやむを得ない事由が生じた場合は日本経済新聞に掲載いたします。  
東京証券取引所市場第一部

三菱UFJ信託銀行株式会社  
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部  
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号  
電話 0120-094-777 (通話料無料)  
[受付時間9:00~17:00(土、日、祝祭日、年末年始を除く)]  
ホームページ <http://www.tr.mufg.jp/daikou/>